

令和元年度

## 放課後等デイサービス評価表

事業所名	放課後等デイサービス ユースケアセンター トム・ソーヤ						
公表日		令和 2年 2月 6日					
保護者等数（児童数）		20 人				回収数 9 割合 45%	
チェック項目		はい	どちらともいえな い	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	1	・甘えも十分に受け止めてもらっています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	1	・大きな声を出したり、テンションが上がりすぎた時に個別対応をしてもらって安心しています。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービスの個別支援計画*1が作成されているか	9	0	0	0	・支援計画を丁寧に作成していただいています。	
	6 個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0		
	7 個別支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0	・利用日数を増やしていただいて、課題に取り組む姿も安定しています。	
	8 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	0	0	0	・楽しい取り組みの計画がされています。	
	9 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	0	8	・問題ありません。	
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0		
	11 放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※3 等）が行われているか	7	0	0	2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	0	0	0		
	14 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	0	0		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	0	0	1	・父母の集まり会に参加したときはわが子の様子がよくわかりました。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	0	・急な予定が入ってしまったときに対応していただいて、とても助かりました。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0	・丁寧な連絡帳のやり取りにとても満足しています。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	1	・毎月のあたたかい心通信は事業所全体の活動内容がとてもわかりやすいです。	
	19 個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	1		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	0	0	1		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	0	1	定期的な訓練がきちんとされています。	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	0	0	・毎回とても楽しみにしています。 ・笑顔で過ごせています。	
	23 事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0	・いつもありがとうございます。	

令和元年度		放課後等デイサービス					事業所における自己評価表結果	
公表日	令和2年2月6日				事業所名	放課後等デイサービス ユースケアセンター トム・ソーヤ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	2	動線にものとなるべく置かないようにして、なるべく広いスペースを確保しています。		継続していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	0	0	1	営業日は必要最低人數+最低1名は有資格者を配置しています。着替えや更衣等も同性スタッフにより、対応させていただいております。		このまま継続していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	5	1	0	1	ワンフロアであるため、聴覚過敏の利用者様に対して、遠くへ誘導したり、相談室を活用したりしています。		継続していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	0	1	毎日、支援終了後掃除を欠かさず行っています。		このまま継続していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2	0	0	毎日、朝礼や終礼により行っています。終礼は記録もさせていただいております。		継続していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	0	0	年1回行っています。		継続していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1	0	1	年1回行っています。		職員にきちんと周知したうえで、継続していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	0	1	現在行っておりません。		職員にきちんと周知していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	0	社会福祉協議会のものを中心に行っております。内部研修も行っております。		継続していきます。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	0	最低でも半年に1度見直しを行っております。		継続していきます。
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	0	トムソーヤの活動内容に合わせて、作成しております。		これからも変化に合わせて、変更していきます。
	12 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1	0	0	アセスメント、モニタリング、個別支援会議を経て、内容を決定させていただいております。		継続していきます。
	13 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	6	1	0	0	計画はスタッフに周知して、その内容に沿った支援を提供しております。		継続していきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	0	月に1度ミーティングを行い、そこで立案しています。		よりよい活動を行えるように情報収集に努めています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	0	ミーティング時に案を持ち寄って考えています。		よりよい活動を行えるように情報収集に努めています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	1	本人の状況に合わせて作成しております。		継続していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	0	朝礼時に行っています。		継続していきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	1	終礼時に行っています。		継続していきます。
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	1	連絡ノートや終礼時の振り返りシートなどで行っています。		継続していきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	最低でも半年に1度見直しを行っております。		継続していきます。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	0	児童発達支援管理責任者が出席しております。		継続していきます。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	0	基本的には相談支援員の方と連携させていただいております。		継続していきます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	3	0	2	現在、医療的ケアが必要な児童はご利用されていません。		医療的ケアが必要な児童を受け入れた際に行っていきたいと思います。

チェック項目							
関係機関や保護者との連携	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	3	0	2	現在、医療的ケアが必要な児童はご利用されません。	医療的ケアが必要な児童を受け入れた際に行っていきたいと思います。
	25 移行支援として、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	0	1	送迎時の申し送りや担当者会議等で共有しております。	継続していきます。
	26 移行支援として、学校を卒業し退所後の施設等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	0	1	必要であれば行っています。	継続していきます。
	27 発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	2	関りはありませんが、自立支援協議会の研修や見学に参加させていただいております。	継続していきます。
	28 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	0	1	ほぼありません。	今後、検討していきます。
	29 (地域自立支援連絡)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	0	1	主に児発官が毎月の児童部会に参加させていただいております。	全ての職員が参加できるように、ローテーションをしっかり組んでいきたいと思います。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	0	送迎時や連絡ノートなどで情報を共有させていただいております。	継続していきます。
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	1	4	0	2	プログラムにのっとっては行えていません。	今後、検討していきます。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	1	契約時に行っています。	継続していきます。
	33 放課後等ディザービスガイドライン「放課後等ディザービスの提供すべき支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	6	0	0	1	作成後、保護者様に説明を行い、同意をいたしています。	継続していきます。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	1	ご相談いただいた場合や、モニタリング時等に対応させていただいております。	継続していきます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	0	1	3か月に一度程度、行っています。	継続していきます。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	0	ご相談がある場合は、できる限り対応させていただいております。	継続していきます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	0	毎月15日前後にトムソーヤ通信を発行しています。	継続していきます。
非常時等の対応	38 個人情報に十分注意しているか	7	0	0	0	職員採用時は個人情報に関する誓約書に同意をしてもらっています。	継続していきます。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	情報の伝え方に注意を払いながら行っています。	継続していきます。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	0	1	法人イベントで流しそうめんや餅つきなど行っています。	事業所単位のものも検討していきます。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0	0	0	マニュアルを整備しております。	継続していきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	月に一度必ず行っています。	継続していきます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	0	0	0	アセスメントや連絡ノートで把握しております。	継続していきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	0	0	現在、アレルギーのある利用者様は来所されません。	今後、アレルギーのある利用者様を受け入れるときに行ないます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	1	発生した場合にその都度行っております。	継続していきます。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	0	年1回行っています。	継続していきます。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディザービス計画に記載しているか	6	1	0	0	やむを得ずあった場合は、連絡ノートや記録を取り、保護者様に説明しております。	本人や他の利用者様、または職員の安全確保の場合にどのような場合において身体拘束を行なうかの共通認識を高めていく必要があります。